


 医師

心療内科から、 患者さんへのメッセージ

心療内科部長 芦原 睦



2002年の自殺者は3万2143人と五年連続で3万人を超えたと報告されています。交通事故死が8326人ですから、実にその4倍近くの方が自ら命を絶っています。その大部分にはうつ病・うつ状態が関与しているといわれています。うつ病とは、「意欲、食欲、睡眠欲などの本来備わっているエネルギーが低下した状態」と考えて頂いた方が理解しやすいと思われます。仮面うつ病と呼ばれるように、身体のような症状があり、その原因を探っても異常が見当たらず、実はうつ病が原因であることもあります。

心療内科は、このような心理・社会的影響の強い「ストレス病」や心でおきる身体の病、すなわち「心身症」を診断し、治療する診療科です。うつ病・うつ状態は、軽症の場合は心療内科で診察可能ですが、原則として精神科が望ましいと思われます。混同しやすいですが、精神科は精神病やノイローゼなど脳や心の疾患

の診療科であり、“精神科医”が担当しています。詳しい違いは院内のパンフレットを参考にしてください。

初診患者さんに対しては約1時間かけてお話を聞いているため、新患は完全予約制とさせて頂いています。受診者の動機が特に重要となる診療科ですので、受診を希望する本人から直接ご連絡頂けると幸いに存じます。



◆ 専用ダイヤル ◆

052-652-5749 (平日3時~5時)

★「フィリア・レター」は、中部労災病院が、患者さまに向けて当院の現況や新しい医療情報などを発信したり、患者さまの建設的な意見を反映する広場として発刊しています。